

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年3月27日（火）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 それでは、定刻になりましたので、ただいまから原子力規制庁の定例ブリーフィングを始めます。

○大熊総務課長 それでは、お手元の広報日程に基づきまして補足説明を申し上げます。

まず、1ページ目、1. (1) 第75回原子力規制委員会が、明日3月28日水曜日午前開催されます。議題は6件予定されております。順次御説明をいたします。

まず、議題1「日本原子力研究開発機構高速増殖原型炉もんじゅ原子炉施設の廃止措置計画の認可について」。こちらは、高速増殖原型炉もんじゅに係る廃止措置計画の認可につきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題2「原子燃料工業株式会社熊取事業所（加工施設）の核燃料物質の加工事業変更許可について」。こちらにつきましては、原燃工・熊取事業所の核燃料物質の加工事業変更許可に関しまして、経済産業大臣への意見照会の結果を踏まえまして、委員会において審議をいただくというものでございます。

続きまして、議題3「平成30年度における保安規定の遵守状況に関する検査等の重点方針について」。こちらは平成30年度におけます保安検査等の重点方針につきまして、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題4「使用済燃料の再処理の事業に関する規則等の一部改正及びそれらの意見募集について－火山影響発生時の体制整備等に係る措置並びに柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉の新規制基準適合性審査を通じて得られた技術的知見の反映－」。こちらにつきましては、実用炉に関しまして直近行われました規則改正を踏まえまして、核燃料施設等につきまして、その特徴を踏まえつつ規則改正を行うために案を作成したところでございます。その案につきまして意見公募を行うことについて、委員会にお諮りをするというものでございます。

続きまして、議題5「政策評価及び重点計画について」。こちらは、政策評価に関しまして、平成29年度実施施策に関する事後評価等の実施計画などについて審議をいただくとともに、原子力規制委員会のマネジメント規定に基づきまして、平成30年度の重点計画について御審議をいただくというものでございます。

最後に、議題6「関西電力による大山火山の火山灰分布に関する調査結果について」。こちらの内容でございますが、昨年6月の委員会におきまして、安全研究の知見を踏ま

えまして、大山火山の火山灰分布につきまして、関西電力に対し情報収集を行うことを求めたところでございます。今般、関西電力から調査結果の報告がございましたので、これについて、規制庁としての見解とあわせて委員会に報告を行うというものでございます。

続きまして、広報日程の2ページ目でございます。

(2)と記載がでございます。3月28日水曜日に開催される会議であります。第5回主要原子力施設設置者（被規制者）の原子力部門の責任者との意見交換会の開催が予定されております。こちらは「CNO会議」と略称で呼んでいる会議でございます。主要原子力施設設置者の原子力部門責任者、いわゆるCNOの方々に出席いただき、意見交換を行うという会議でございます。今回は議題として3件が予定されております。

まず、1件目といたしまして、原子力の安全性向上のための取り組み強化に向けた新組織の設立が原子力事業者において検討されております。その準備の状況につきまして事業者の側から説明をいただき、議論を行うという予定でございます。

また、議題2といたしまして、担当者レベルでの技術的意見交換の方法についてということで、前回の本件会議におきまして原子力事業者の側から提案があったことを踏まえまして、原子力規制委員会・規制庁の側から意見交換の方法について提案を行い、議論を行うということを予定してございます。

また、議題3でございます。蒸気ボイドによるRHRポンプ機能喪失問題への対応ということで、こちらは、先日、委員会において報告し議論をした内容について、こちらのCNO会議で報告をいたしまして、今後の検討の進め方について議論を行うということを予定しているということでございます。

続きまして、3月29日木曜日、(3)の審査会合でございます。こちらの午前中の審査会合につきましては、いわゆる特重施設に係る審査のため、非公開にて開催をさせていただきます。

議題の内容といたしましては、九州電力・川内発電所1号炉及び2号炉の工認に係る審査、及び玄海発電所3号炉及び4号炉の設置変更許可に係る審査、この大きく2件の審査を予定してございます。

続きまして、同日29日の(4)、午後に予定されている審査会合についてでございます。こちらは議題として2件予定されております。

まず、東北電力・女川発電所2号炉につきましての審査ということで、全交流電源喪失時の対策、また、保安電源などにつきまして御説明をお聞きし、審査を行うということをご予定してございます。

その後、日本原電・東海第二原子力発電所につきまして、防潮堤の設計に関する確認事項につきまして、前回に引き続き審査を行うということをご予定してございます。

続きまして、広報日程の3ページ目を御覧ください。

下段、4月2日月曜日、(9)にございます第17回検査制度の見直しに関するワーキング

グループについてでございます。こちらは議題が2件予定されております。

記載のとおりでございますが、議題1として、原子力規制検査におけます重要度評価の結果を踏まえた追加検査の考え方について、検討を行う予定でございます。

また、議題2といたしまして、検査制度全体のフロー、全体の構造と流れについて検討を行うという予定でございます。

最後に、広報日程の4ページ目を御覧ください。

その他といたしまして、行事が1件予定されてございます。4月2日月曜日、10時からでございます。平成30年度新規採用職員任命式及び新たに開設する教育訓練課程の第1期入校式を行う予定でございます。こちらは、規制委員会の会議室においてフルオープンで開催する予定でございます。

若干補足いたします。

平成30年度を迎えまして、新規採用職員といたしまして25名が入庁するという事となっております。また、任用資格に係る教育訓練課程、その集中コースの訓練生といたしまして若手職員5名が入校するという予定でございます。こちらは検査官などの養成のために、2年間通常業務を離れて教育訓練を行うというものでございまして、記載がございますように、第1期生の入校ということになるものでございます。そうした新規採用職員の任命及び訓練生の入校に当たりまして、任命式と入校式を行うというものでございます。委員長からの辞令交付及び訓示などが予定されているところでございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問の方をお願いいたします。

それでは、質問のある方は手を挙げてください。ナギラさん。

○記者 毎日新聞、ナギラです。

最後の教育訓練課程の件で伺いたいののですが、概要を今教えていただいたのですが、もう少し詳しく、通常業務を離れて全く訓練だけをずっとしていくというようなイメージでいいのか。あと、どこでどういうことをするのかというのをお願いします。

○大熊総務課長 こちらは委員会でも議論されているところで、御案内かと存じますが、検査官などについての能力を高めるということで、資格制度というものを設けたところでございます。それに伴いまして、様々な訓練の課程、幾つかの訓練の課程というものを設けるわけでございますけれども、この集中コースというものにつきましては、2年間、通常業務を基本的に完全に離れて教育訓練に集中してもらうということで、平成30年度から開始するというものであります。

こちらは原子力安全人材育成センター、規制委員会のもとにある組織でございますけれども、物理的にはこのビルの上の階にあるわけでございます。ここに席を置いて、そ

ここで教育訓練を集中して受けてもらおうと、こういう仕組みを設けたというところがございます。

○司会 ほか、ございますでしょうか。フジオカさん。

○記者 NHKのフジオカです。

1点、明日の定例会について伺いたいのですけれども、議題1でもんじゅの廃止措置計画の認可についてとあるのですけれども、これは規制委員会の定例会合の議論をもって認可が正式に決まるということよろしいでしょうか。

○大熊総務課長 答えは直接的にはそうであります。御案内かと存じますけれども、これまでもんじゅ廃止措置安全監視チーム会合などにおきまして審査を進めてきたところがございます。それを踏まえて明日の委員会に認可についてということでお諮りし、その議論の結果によって、認可されるかどうかということをお判断いただくということをお予定しているものであります。

○記者 では、確認なのですけれども、手続的な面でいいますと、その後に、例えば、事務局的な何か認可に係る手続が必要とかではなくて、委員会の議論をもって認可ということよろしいのですか。

○大熊総務課長 手続的とおっしゃるのは、委員会で決定をして、それに並行する形でいわゆる決裁手続などというものは行うことにはなりますけれども、委員会決定により認可を行うかどうかを判断して、可となれば認可を行うということになります。

○司会 よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。

—了—